

まえがき

新谷賢太郎

1969年は「人類月面に立つ」た年として、わたくしたちの脳裡に深く銘記される年になりましたが、同時にこの年は高校教育に未曾有の大きな問題を投げかけました。

高校教育の現場に立つわたくしどもに、教育実践の反省は、実践の理論化と理論の実践化という二つのかたちをとって、不断に課せられています。この課題に答えようとする本校のささやかな歩みをまとめ、「高校教育研究」第21号を刊行して、お目にかけるはこびになりました。とり上げた問題はどれも本校における教育実践展開の場から汲み上げられたもので、明日の教育活動を推し進めるに当って、そのよりどころとして生かそうと思っている次第であります。

各教科の分化の度合いが、小・中校教育にくらべて、はるかにきびしい高校教育において、各教科目別の学習効果の向上をはからねばならぬことはいうまでもないことですが、同時に各教科の学習ならびに教科外活動の統合された学習の場と形態をどのように具体化して高校生活の中に定着させるかを、本校は本校なりの立場で追求してまいりました。

「健歩実習に対する一考察」「能登半島実習旅行の概要と生物科の指導」は、さまざまな教科の学習の統合を意図した本校の実験的な統合学習形態の定着を目指す一里塚として、その中核的役割を果たしつつある当該教官方によってまとめられたものであります。「本校生の政治意識および政治活動」は、文字通り本校生の生活実態の一側面を調査したもので、適切な指導の研究と実践に役立てようとしたものであります。「美術学習上の困難点の検討」「古典授業の形態」「現代英語における動名詞構文について」「数学科教育課程試案」「『倫・社』教育の反省と検討」はどれも日々展開されている教科の学習指導の過程にみられる教科教育法上の諸問題を理論的に反省した諸研究であります。

極めて深刻な高校教育問題の投げかけられた年でありましたが、その間、わたくしたちがわたくしたちなりに教育実践の場から拾い上げた諸問題と取り組み、それをまとめて「高校教育研究」第21号の内容として、広く皆様のお手もとにおとどけする次第であります。

皆様のご叱正とご指導のいただけるよう切にお願いして止みません。